へ13
3013
27

連歌は名ばかりの宗椿の源氏を愛するのあまり讀てもあるべき足ぢなしとて書寫する事数十部遂に朝顔の巻を書寫する事数十部遂に朝顔の巻をそれと見しらぬ事かなれど原業もあるべき草雙子のさまなれば長くも續まじ朝臣のあるは至らぬあるもあるべきふるあるべんと其業をうまもうは言ふもそ阿古木の寄ふ結びあるべしが既は彼巻ちくあり せんまぐあるべる松風の松ふからもの朝臣は似氣なれども其の發端とあるふ繪をいれるる薄雲とうち戦て麻蒔の典形をうつさんとその仕業あり如比せばれば後るるあるべ言葉の回島がうるさしそもく夕顔朝臣の名ハ及對るゆめあれが振向も又麻くるく遠輪廻巡似るれども うの黄昏ハ光氏を思ひのあまり垂帳とあるの句作りハ抑のかたりて後は紀さん 釋とあるの句作りハ抑のかたりて後は紀さん

天保戊戌條風

柳亭種彦

東京大学蔵

へ13 3013 27

あき
仁木の後室
空衣

萩

東都 柳亭種彦著述

俳諧芳州集 全二冊 國貞画 板

俳諧叢雲集 全三冊 國貞画 刻

俳諧全四歌仙 全一冊 國貞画 板

東都 柳亭種彦著述

俳諧 今人俳合集 全四冊 國貞画 彩色刷板

俳諧 今人叢白集 全二冊 來年早春出板

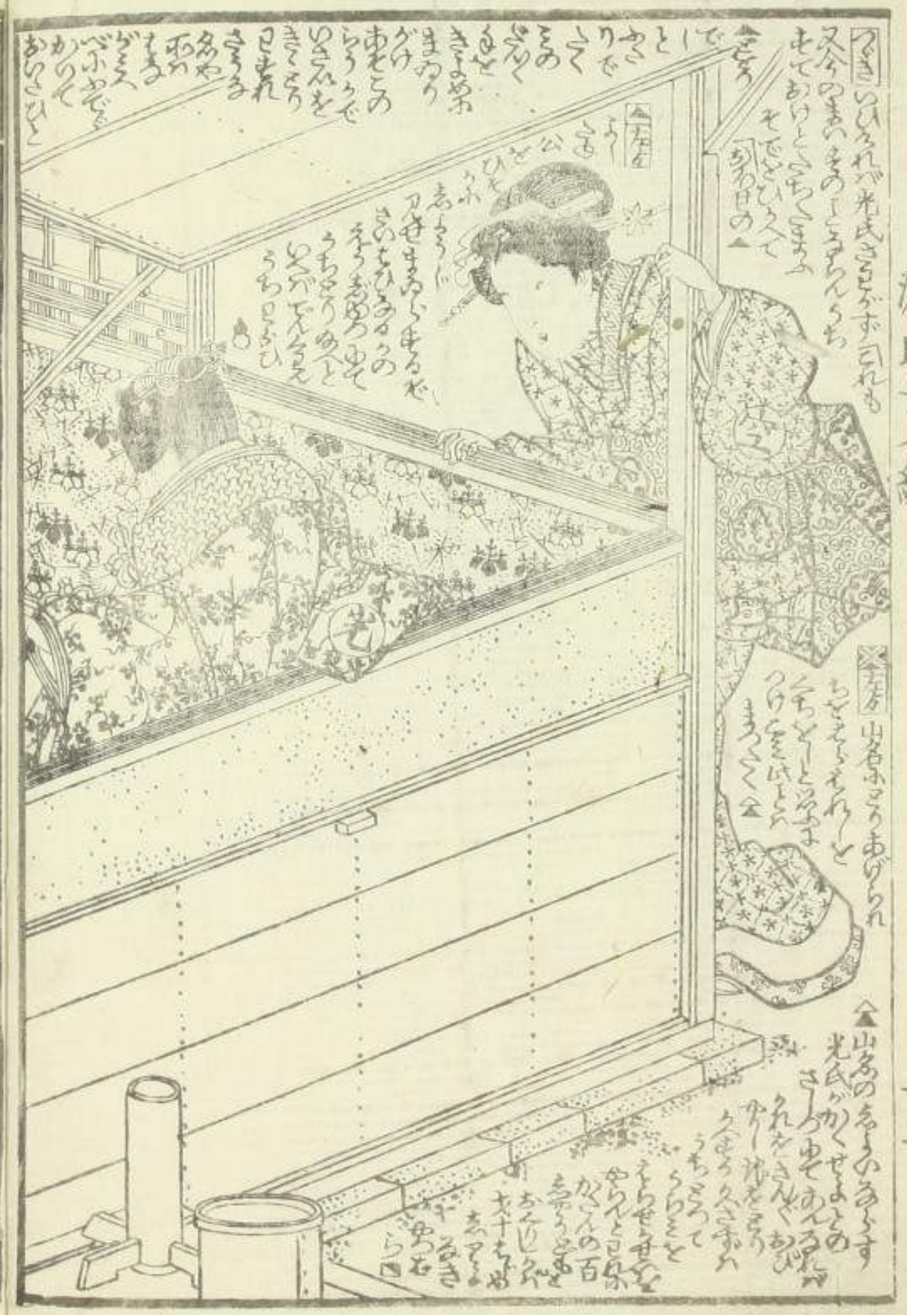
書肆

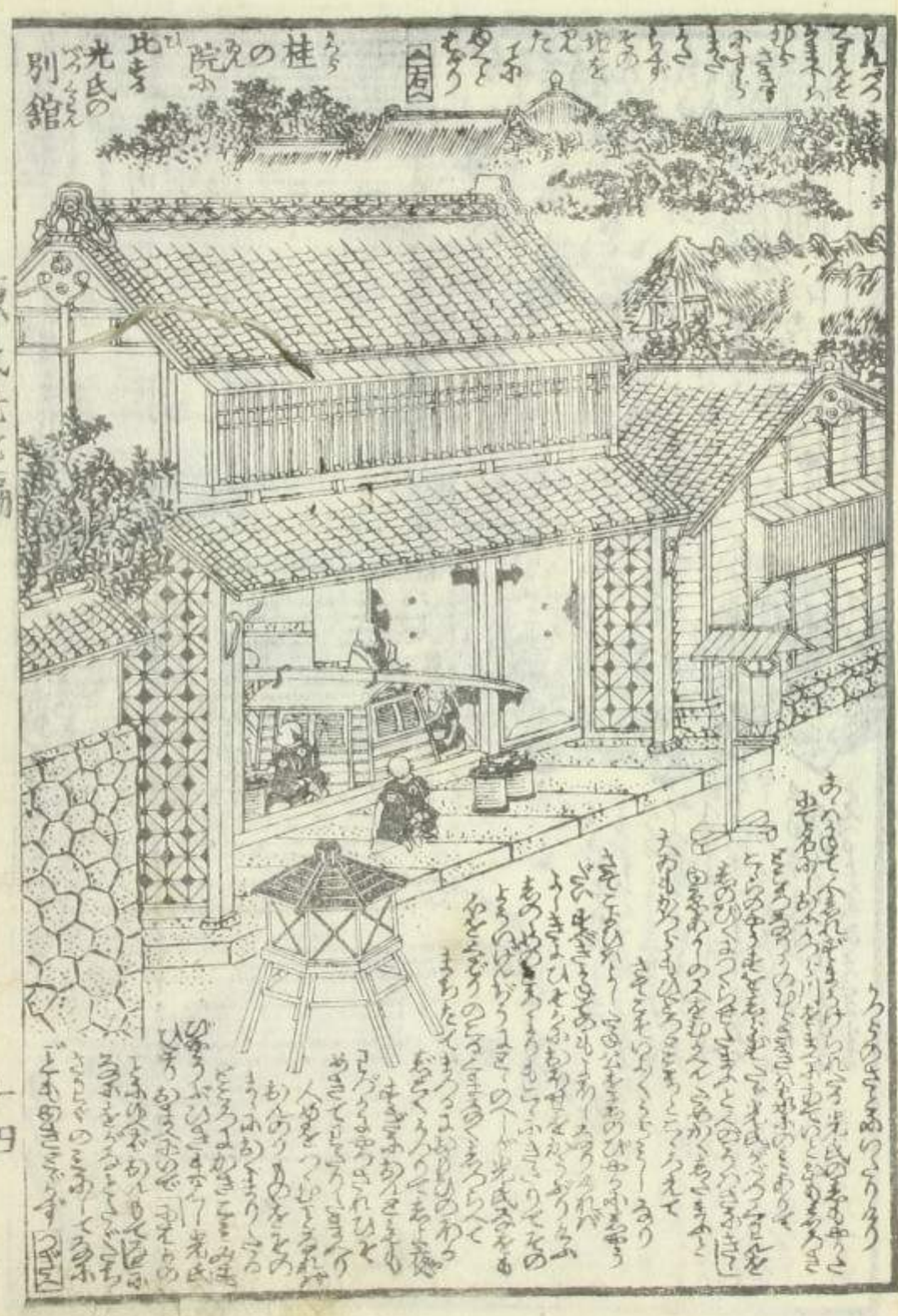
江戸通油町

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門藏

燒紫
四合
九七編下

笑世七編下冊
種彦作
國貞画
鶴屋喜右衛門




桂の院
光氏の別館

南伝馬町三丁目 坂本氏

國貞画 種彦作

天保九年戊戌初春新彫

修紫田舎源氏
全年九五編より三十編まで岡板おかるく手代伝笑覧と稗書帯仙

柳亭種彦作
歌川國貞画

佐野渡怨敵懸橋
柳亭仙橋作
五雲亭貞秀画
全六冊

櫻風呂花手開
五雲亭貞秀画
全四冊

復讐國学茶語文庫
丹頂草鶴丸作
五雲亭貞秀画
全四冊

松ゆきの藤浪
五柳亭徳升作
歌川貞秀画
全八冊

金花貓婆化生舞
大海舎金龍作
五雲亭貞秀画
全六冊

昔咲大樓たてア
小絵ざうし
種彦作書
貞秀画図
二冊

昔咲きそめ
種彦作書
貞秀画
三冊

茶番のいろは
昔語浦島太郎
三冊

四十八銅
南仏手間三十目四匁
黒油美人香
艶仙女香
江戸通油町
書物錦繪扇地紙
問屋
鶴屋喜右衛門